

製品安全データシート

製造者情報

会 社： 光洋化学株式会社 上野原工場
住 所： 山梨県上野原市八ツ沢 2193-135
担 当： 品質管理部
電 話： 0554-63-5881
FAX： 0554-63-5882
緊急連絡先： 同 上



整理番号 2-048-A

作成 平成27年6月5日

製 品 名 IVALUE IVL-YJT-G-5025 養生テープ

物質の特定 単一製品・混合物の区別 : 混合物
化学名 : ①ポリエチレン ②アクリル酸エステル共重合体 ③その他
含有量 : 71.0% 28.0% 1.0%未満
CAS NO : 09002-88-4 68698-72-6

危険有害性
の分類 分類の名称：無し
危 険 性：現在のところ製品としての知見無し
有 害 性：現在のところ製品としての知見無し
環 境 影 響：現在のところ製品としての知見無し

応急処置 目に入った場合：直ちに流水で十分に洗眼する。
取扱中に粘着剤が皮膚：水または石鹸水で十分洗浄する。もし皮膚に
に付着した場合 炎症を生じた場合は、医師の手当てを受ける。
吸 入 し た 場 合：加熱溶解時（焼却時など）に発生する蒸気、
ガスを大量に吸入した場合は新鮮な空気の場合に
移動し、異常が認められる場合は、医師の手当て
を受ける。
飲み込んだ場合 : 大量に飲み込んだ場合は直ちに吐き出させ、
異常が認められる場合は、医師の手当てを受ける。

火災時の
処置 消火方法 : 火災発生場所の周囲に関係者以外の立ち入りを禁止する。
移動可能であれば、速やかに安全な場所に移動させる。
周囲の設備等に散水して冷却する
消火作業の際は、適切な保護具を着用する
消火剤 : 噴霧水、粉末、炭酸ガス、アルコフォーム、乾燥砂

漏出時の処置 くずなどは容器に集め廃棄処分とする。

取扱い及び
保管上の注意 取扱い：人体には直接はらないこと。
家具、壁、硝子、その他に貼る場合、事前に試験をすること。
電気絶縁用には使用しないこと。

重量物の固定、つり下げなどは使用しないこと。
貼る面のホコリ、油分、水分などよくふき取って、
しっかり押さえて貼り付けること。

保 管：直射日光をさけ、涼しいところで、水平に置き保管する。

暴露防止処置	管理濃度：管理濃度は規定されていない。
	許容濃度：日本産業衛生学会、ACGIHではこの物質の許容濃度を設定していない。
	設備対策：特になし
	保 護 具：必要に応じて着用する。

物理／ 科学的物性	外 観 等：粘着テープ		
	①ポリエチレン	②アクリル酸エステル共重合体	③フタロシアニングリーン
	融 点： 114～133℃	－ 5 5℃(Tg)	450℃以上昇華
	比 重： 0.927～0.952	1.0～1.2	2.0
	溶 解 度： 水に不溶	水に不溶	水に不溶
	外観等：粘着テープ		
	④銅フタロシアニブルー		
	融 点： 450℃以上昇華		
	比 重： 2.05		
	溶 解 度： 水に不溶		

危険性情報	引火点	： 300℃以上
	可燃性	： 有り
	発火性	： 無し
	酸化性	： 無し
	自己反応性・爆発性	： 無し
	粉塵爆発性	： 無し
	安定性	： 通常の取扱状態において安定
	その他	： 特になし

有害性情報	皮膚腐食性：現在のところ製品としての知見無し
	刺 激 性：皮膚刺激性 物理的な刺激
	眼 刺 激 性 物理的な刺激
	感 作 性：現在のところ製品としての知見なし
	急 性 毒 性：生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない
	亜急性毒性：生理学的に不活性であり、人体への特別な急性作用はない
	慢 性 毒 性：現在のところ製品としての知見無し
	が ん 原 生：現在のところ製品としての知見無し
	変 異 原 生：現在のところ製品としての知見無し
	生 殖 毒 性：現在のところ製品としての知見無し
	催 奇 形 性：現在のところ製品としての知見無し
	そ の 他：特になし

環境影響情報	分 解 性	：現在のところ製品としての知見無し
	蓄 積 性	：現在のところ製品としての知見無し
	魚 毒 性	：現在のところ製品としての知見無し
	そ の 他	：現在のところ製品としての知見無し

廃棄上の注意	焼却炉で廃棄するか、産業廃棄物処分場に埋め立てる
--------	--------------------------

輸送上の注意	容器、包装は破損のないことを確かめ、落下、損傷の無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。
--------	--

適 用 法 規	消防法 ： 指定可燃物 合成樹脂類
---------	-------------------------

この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。

本データシートは、弊社の持つ知見をもとに充分注意を払い作成しております。しかしながら、この記載内容は通常に使用状態におけるものであり、特殊な条件下での安全性や引用文献の内容、すべての生体影響の網羅を保証するものではありません。

使用におきましては、適用法令に従うとともにこの製品安全データシートを参考に、自社の使用に即した取扱上の注意を検討確立し、安全にしようしていただきたくお願いいたします。